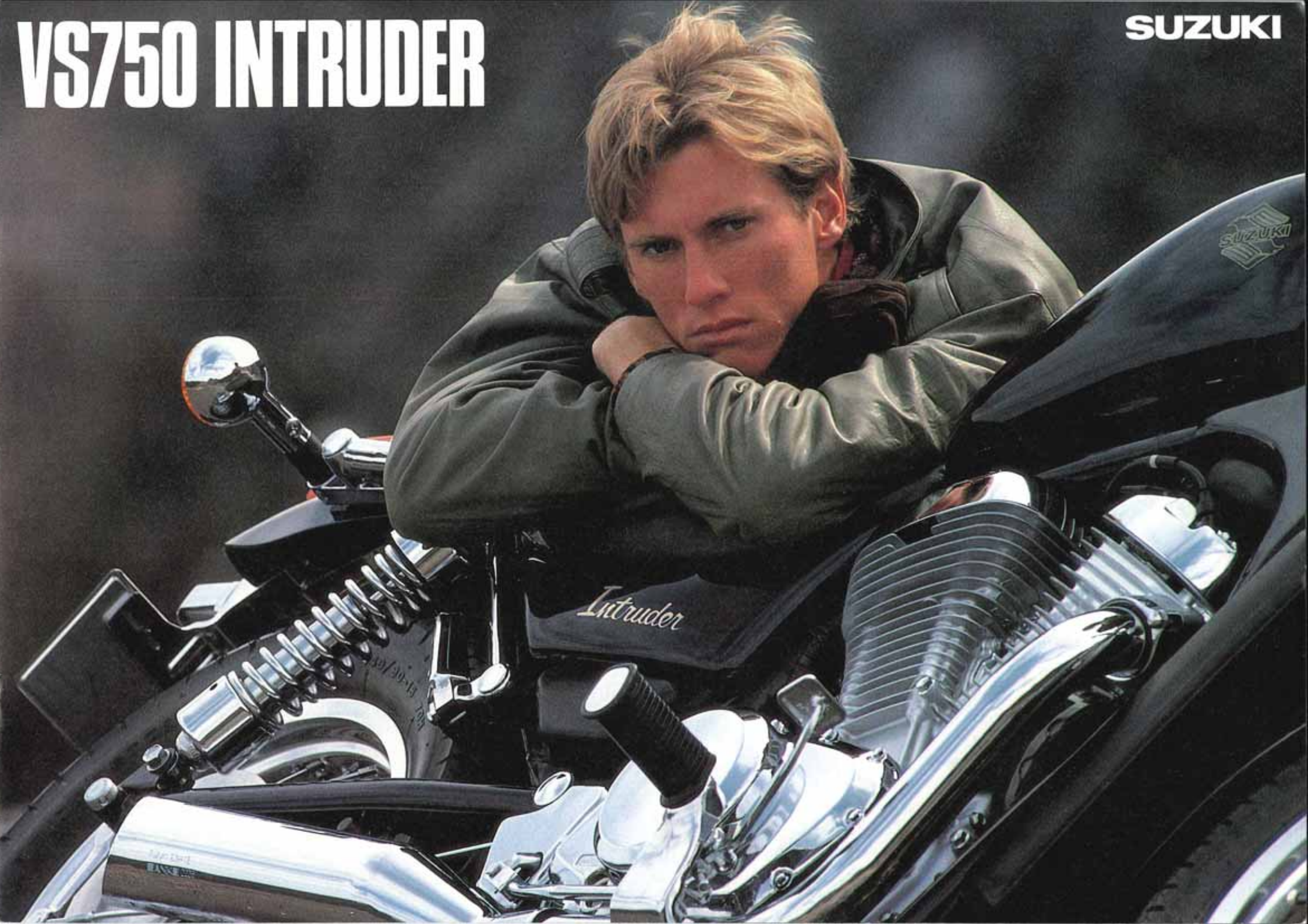


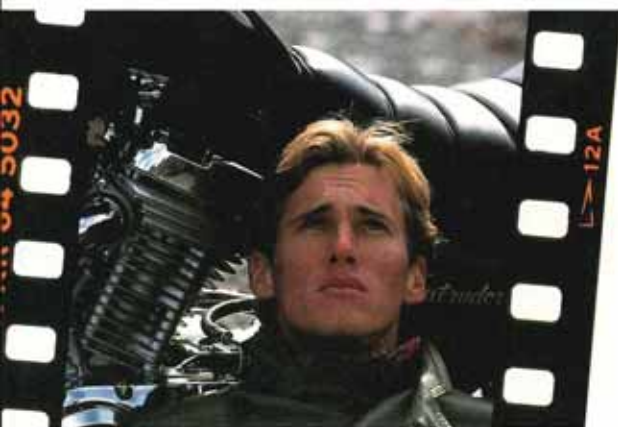
VS750 INTRUDER

SUZUKI



男は贅沢な生きものである。

このシルエットを何と言おう。この輝きを何と言おうか。
そしてこの胸の高まりは何だろう。ラジカルクルーザー、
スズキVS750イントルーダー。人間の五感のすべてを
満たすモーターサイクル。ただ走るだけなら、これほど
ストイックなまでに美学は追求しなかつただろう。グラ
マラス&スリム。官能的とも言えるセクシーなフォルム。
精緻な造型美が光る水冷Vツインエンジン。低く抑制



された響きが、走りのダンディズムを主張する。速く走
らせることよりも、美しく走らせることにロマンを感じる
男のモーターサイクル、VS750イントルーダー。ここ
には、美しいマシンを操る歓びがある。美しいマシンを所
有する愉しみと誇りがある。シーサイドロードを低いギ
ヤで流すように走り、カフェのまえに停めたとき。いつ
たい何人の視線を集めるだろうか。磨きぬかれたもの
だけが放つ、まぶしいほどのきらめき。VS750イントルー
ダーに、平凡な日々は決して似あわない。思いっきり精
神の贅沢を味わい、甘美な陶酔にひたってほしい。男の
道具としてのモーターサイクルはかくあらねばならない。

VS750 INTRUDER





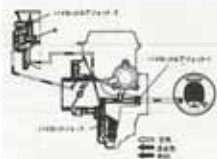


男の心をふるわせるVツインサウンド。

ラジカルクルーザーを標榜するVS750イントルーダーが
パワーユニットとして選んだのは、水冷4サイクルSOH
C4バルブ45度V型2気筒エンジン。最高出力63PS/
7,000r.p.m.、最大トルク7.0kg-m/6,000r.p.m.。狭角45
度Vツインエンジン特有のサウンドをともなう、パワフル
かつシャープなレスポンスが力強い加速感を生み出す。
ランブルランならではのエンジン鼓動との一体感。自分



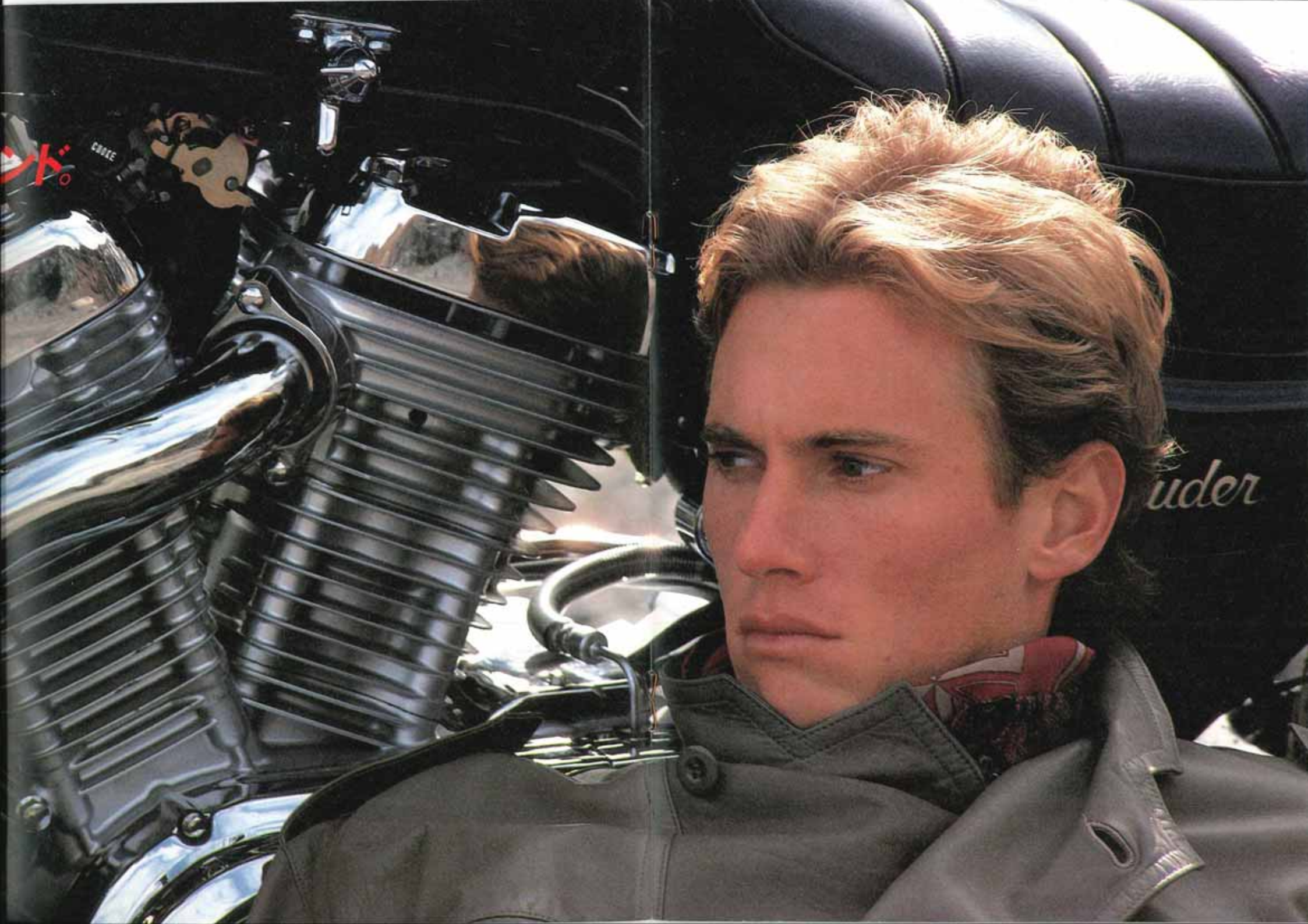
自身のモーターサイクルが
奏でるエキゾーストノートに
酔いしれる男のためのパワ
ーユニット。その必然の結
果がVツインエンジンの採



用だった。また、キャブレターとエアクリーナーは前後に
セパレート。しかもエアクリーナーは、メインフレーム内蔵
タイプ。大容量を確保して吸気効率を向上させている。
同時にコンパクトなフィニッシュにより、シンプル&スリムな
フォルムは緊張感をもった美しさへと昇華した。VS750
イントルーダー。これはまぎれもなく走るアートそのものだ。

VS750 INTRUDER







走りの美学を完成するために、これだけのテクノロジーが必要だった。

一瞬、空冷だろうかと思ってしまう。ナローなラジエター。VS750イントルーダーの、もっとも印象的なフォルムのひとつ、フロントビュー。ラジエターは、一瞬、空冷かと思えるほど巧みにスペース処理。フレーム間にコンパクトにおさめてカスタムタッチの個性をいっそうきわ立たせている。放熱容量の大きなラジエターに加えてさらに冷却ファンも装備。市街地走行などの際も、高い冷却効果を発揮し、万全の走行状態を確保。ナイスランを実現。



ただ美しいだけではない。ライダーへのやさしさがある。男性的な力強さを主張するだけではなく、いかに美しいラインを描けるか。これが、ダブルフロントエキゾーストシステムの出発点だった。Vツインの前後のシリンダーから前部は前方排気、後部は後方排気とバラバラに流すことなく両気筒とも前方へとまわし流麗なカーブを描くように継ぎ目なくマフラーへ流している。美しさの強調だけではなく発熱部分からライダーの体を守る配慮も十分。



美しい肢体の秘密は、フレームにあった。美しいと言われる人は、総じて姿勢が良い。VS750イントルーダーのボディをスリムに美しく見せるフレームは、新設計ダブルクレードルタイプ。しかもドライブシャフトはフレーム外側を通す設計としたため、イメージ通りのナローなフレームワークを実現。タンクやフェンダー同様にカラーリングされたフレームはアピランスをさらに端正に見せている。



シャフトドライブはラジカルクルーザーのパワーの象徴だ。VS750イントルーダーのパワーをファットなリヤタイヤに伝えるため、すぐれた信頼性と耐久性を誇るシャフトドライブ方式を採用。パワーの伝達ロスを軽減させるだけではなく、騒音の低減、メンテナンスフリーも実現。安定した操縦性能で、ラジカルクルーザーの本質をいく快適なクルージングを可能にしたVS750イントルーダー。こんなモーターサイクルと出会えた男たちは幸福である。

男はセクシーなものに憧れる。

磨きぬかれた肉体が最高のファッションになるように。モーターサイクルとして必要なものを装備。シンプルな美しさをきわめたVS750イントルーダー。タコメーターは不要。ブレーキディスクも片側だけで十分だった。そしてカバー等もプラスチックは一切使わず金属を多用。材質は言うまでもなく、表面処理までデザイナーの審美眼で厳しく見詰め、このフォルムをつくりあげた。過激なまでのストイックな美しさゆえに、人は胸を熱くする。



- フロントビューでラジカルクルーザーを強烈に主張する小径タイプのヘッドライト。ハウジングは高級感あふれるクロームメッキ処理。ランプは60/55Wの大容量ハロゲン。
- スイッチボックスはカスタムタッチのムードあふれるゴージャスなアルミバフクリヤー仕上げ。驚くべき高品質感。
- タコメーターを排し速度計だけとしたシングルメーター。インジケーターを別体として、広い視界を確保している。
- フロントに対向ピストン採用油圧式ディスク、リヤに大径ドラムブレーキ採用。パワーにマッチした強力な制動力を確保。クロームメッキのケーブルスプリングが美しい。
- 高密度でしかもスポーク自体の径も太くして強さと同時に美しさも追求したハイグレードなスポークホイール。
- セクシーなフォルムのティアドロップ型12ℓ入りフューエルタンク。Sのエンブレムが美しくペイントされている。

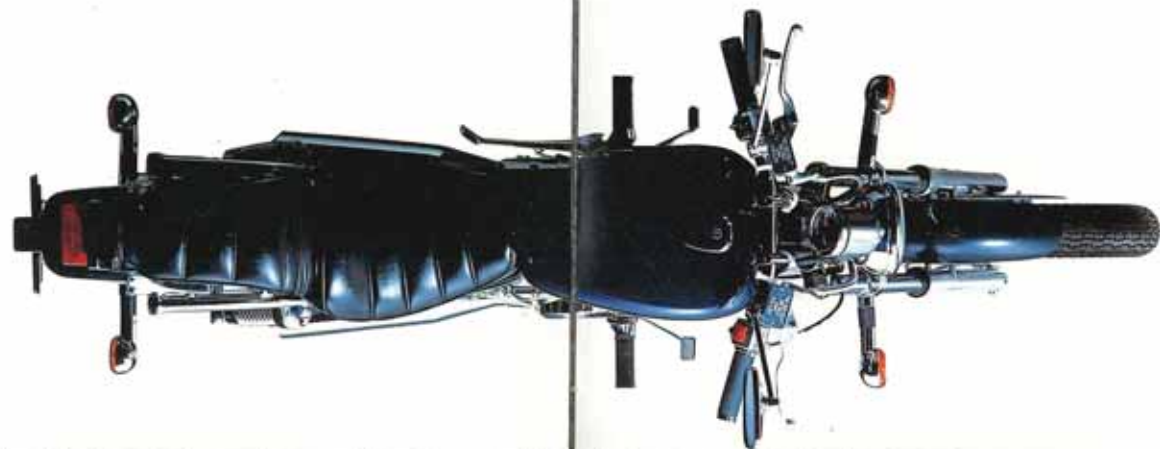


VS750 II

この輝きとこのテイスト
男の心をはるか地平線へと駆り立て
モーターサイクルは、どこ

アメリカンの新しい領域を切りひらいた
VS750イントルーダー。トラディショナルなイメージのアップ
ハンドルとラジカルなフラットハンドルの
2タイプがあります。



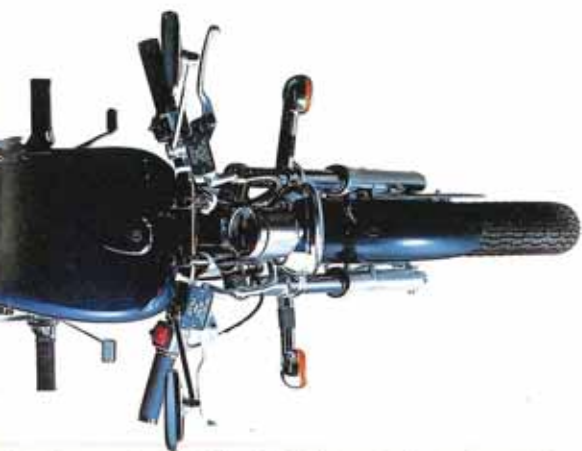


VS750 INTRUDER

この輝きとこのテイストが私のプライドだ。
男の心をはるか地平線へと駆り立てる、ラジカルクルーザー。
モーターサイクルは、どこまで美しくなるのだろう。

アメリカンの新しい領域を切りひらいた
VS750イントルーダー。トラディショナルなイメージのアップ
ハンドルとラジカルなフラットハンドルの
2タイプがあります。





INTRUDER

トが私のプライドだ。
てる、ラジカルクルーザー。
まで美しくなるのだろう。



- 680mmの超低シート高により足つき性は抜群。ナローなフレームワークと相まって類のない乗りやすさを実現。
- フロントフォークはセンターアクスルタイプ。リヤサスはピッチの狭いスプリングを使用。ダイナミックな美しさを、ラジカルクルーザーのアイデンティティを強調。
- 油圧クラッチのマスターシリンダーおよびハウジング、フロントブレーキのマスターシリンダーは、すべてアルミの鋳造品。細部にも惜しげもなく贅沢な装備・素材を採用。
- ボルトやナットはすべて、バフがけしたものをさらにクロームメッキし、締めつけ部分のわずかな突起部も見の



がすことなく表面処理。カスタムタッチの丹念な仕上げ。

- 入念な塗装がまるで工芸品のよう美しいスチール製フレームカバー。イントルーダーのレタリングが、新鮮。
- アルミの上にクロームメッキ処理した重量感のあるピリオンステップ。深みのあるテイスティなシルバーが魅力。
- リヤビューの印象をさらに光らせる入念なクロームメッキ処理を施したグラブバー & パッド付きシートバック。
- 入念なクロームメッキ仕上げを施したサイドスタンド。
- フロントは19インチ100/90扁平タイヤ、リヤは小径15インチ140/90のファットタイヤを採用。安定した走行状態を確保。停止しているときはもちろん、ひとたび走り始めれば、ラジカルクルーザーのスピリッツを堂々と主張する。ビス1本までつらぬかれている、イントルーダーの美学。これこそ、男の旅立ちにふさわしいモーターサイクルだ。



フラットハンドル仕様
ブラッシュブルー



フラットハンドル仕様
キャンディラグジュアリアルーン



アップハンドル仕様
スペースブラック

VS750INTRUDER SPECIFICATIONS

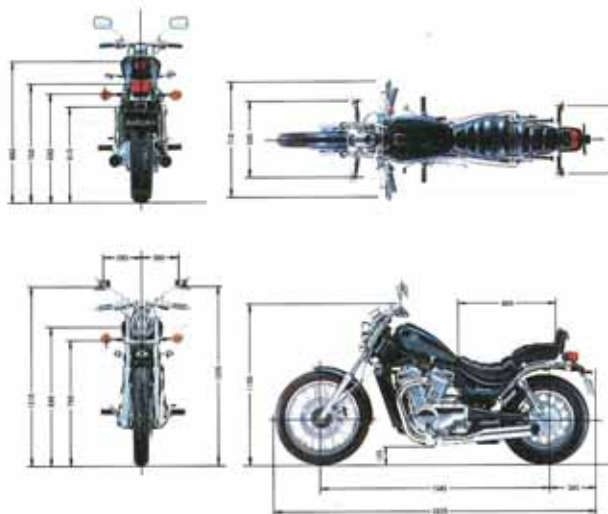
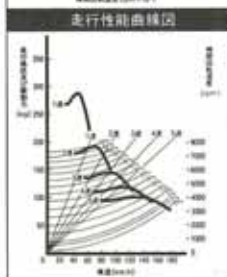
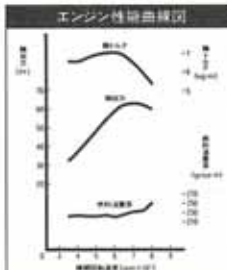
型式	VR51A	(フラットハンドル)	(アップハンドル)
全長	2,225 mm	2,225mm	
全幅	710mm	750mm	
全高	1,100mm	1,185mm	
軸距	1,545mm		
シート高	680mm		
最低地上高	125mm		
乾燥重量	186kg		
定地燃費	37.1km/l (60km/h)		
最小回転半径	2.8m		
制動距離	14.0m (50km/h)		
エンジン型式	4サイクル・水冷・V型2気筒		
弁方式	SOHC・4バルブ		
総排気量	747cc		
内径×行程	80.0mm×74.4mm		
圧縮比	10.0		
最高出力	63ps/7000rpm		
最大トルク	7.0kg/6000rpm		
キャブレター	BDS34(前)、BS34(後)		
潤滑方式	ウェットサンプ		
点火方式	フルトランジスタ		
始動方式	セル		

標準現金価格 ¥670,000 (北海道・沖縄および一部離島を除く)

●定地燃費は定められた試験条件の値です。したがって、走行時の気象、道路、車両、整備などの諸条件により異なります。

●この仕様は、改良のため変更する場合があります。

●車体色は印刷のため、実物と異なって見える場合があります。



SAFE & JOYFUL: モーターサイクルに乗るための、マナーとルール。

かぶりましょうヘルメット 乗車用ヘルメットはS、SG、JISマークのついたものを選びましょう。あごひもはきちんと締めかぶりましょう。身体露出が少なく、動きやすく明るい色の服を着用しましょう。あなたのバイクを
チェック 乗る前に、燃料、オイル、ブレーキ、タイヤ、ランプなど、仕業点検を必ずしましょう。整備手帳にある、定期点検も大切です。走行はムリなく安全に ●あせらずムリせず安全速度で経済走行をしましょう。空
ブカシはムダです。ガソリンを大切にしましょう。●4輪車の動きにご注意 バイクを運転するときは、4輪車の動きをよく見ましょう。4輪車からよく見える位置を選んで走りましょう。車間距離は十分に。交差点では左折や
右折する4輪車に注意しましょう。特に大型トラックなどの、左側には近づかないようにしましょう。●合図は早めに 合図は、右左折、進路変更などの意志表示です。早めに的確な合図を心かりましょう。●一時停止は正確に
一時停止の標識のある場所や狭い道から広い道へ出るときは、必ず止まって左右の確認をしてから発進しましょう。●カーブの手前で減速 カーブでは、手前で十分にスピードをおとしてから曲るようにしましょう。改造はやめよう
変形ハンドルやマフラーの改造などは、法律で禁じられているばかりではなく、操縦安定性及び消音機能を低下させ、バイク本来の性能が発揮できませんのでやめましょう。自賠責保険をお忘れなく 自賠責保険には、
必ず加入しましょう。期限のチェックも忘れずに。盗難にご注意 バイクから離れるときは、キーを抜きとりハンドルロック(施設装置、スズキ全車に標準装備)で盗難防止を。

スズキ安全運転指導本部



美しく走りた人々にしか似合わないだろう。GERAROW

WHAT A TASTY RUN!
「走るから」味わうへ、スズキ。

- ★ヘルメットを正しくかぶりましょう。
- ★点検・整備を忘れずに。
- ★安全のため改造はやめましょう。

スズキクレジット スズキサマスマイル

信頼にこたえる技術のスズキ
SUZUKI

〒432-91 静岡県浜松市外高塚300
99999-10103-000